

湖西市一般廃棄物処理業等合理化検討審議会 答申の方向性について（委員長私案）

一般廃棄物の適正な処理を継続的・安定的に実施していくことは、市の重要な責務である。

その大前提のもと、市民からの貴重な税や料金等を適切に活用すべく、し尿収集運搬に係る業務効率の向上や経費削減等、社会情勢の変化に応じて不断の見直しを行っていくことが不可欠である。

その一方で、実質的な処理は業者が責任を持って担い、市の衛生保持に貢献してきたことから、制度の変更・見直しを行う際には、業者のこれまでの貢献を評価するとともに、業者と十分な協議ならびに情報共有を行い、より一層の強固な信頼・協力関係を築いていくことが肝要である。

また、変更・見直しにあたっては、市民に対して適切な周知を行い、説明責任を果たすとともに、混乱を及ぼすことのないよう努めること。

1 委託業務（し尿収集運搬業務）について

し尿収集運搬業務に関して、下水道整備や人口減少が進む中、現行のし尿収集運搬体制を維持したままでは非効率性が拡大していくことが避けられず、その是正・改善が不可避である。

現状の委託制と比較して許可制は業者の裁量を大きく拡大し、業者の創意工夫による業務効率の向上により市の衛生保持に資するものであると考えられる一方、許可制への移行は業者の経営基盤に影響を与え、業務の安定性の観点からも懸念が示されていることから、市と業者は十分な協議を行うことで許可制の課題を共有しつつ、その利点を最大限活かせるよう努めること。また、許可制への移行の際には、適切な準備期間を設けること。

2 許可業務（浄化槽汚泥収集運搬及び仮設トイレのし尿収集運搬業務）について

浄化槽汚泥及び仮設トイレのし尿収集運搬業務に関して、一般廃棄物の適正な処理を継続的・安定的に実施していく観点から、廃掃法、環境省通知（平成 26 年 10 月 8 日付）、市の一般廃棄物処理計画等を踏まえつつ、現状の 3 社体制を維持するとともに、現在の許可区域について早急に再編を行うことが望ましい。

再編に際しては、市と業者は十分な協議を行うとともに、市民に対して混乱を及ぼすことのないよう努めること。

また、区域割の撤廃により見直しする場合においては、需給の変動への配慮や過当競争とならないための制限を付与するなど、適切な対策を講じること。

3 し尿等処分料金について

し尿等処分料金に関しては、まずは受益者負担の導入について考え方を整理する必要がある。市民生活への影響や、全国的な廃棄物処分の受益者負担の動向等について注視しつつ、慎重に検討することが望ましい。